

「子育てに関するニーズ調査」ご協力のお願い

市民の皆様におかれましては、平素から市政へのご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

鹿児島市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく、子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、五年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を平成 27 年 3 月に策定し、計画的な給付・事業を平成 27 年度から実施しています。

本調査は、次期計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多用とは存じますが、ご協力よろしくお願いいたします。

<子ども・子育て支援新制度とは>

【目的】

- 急激な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子供の成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

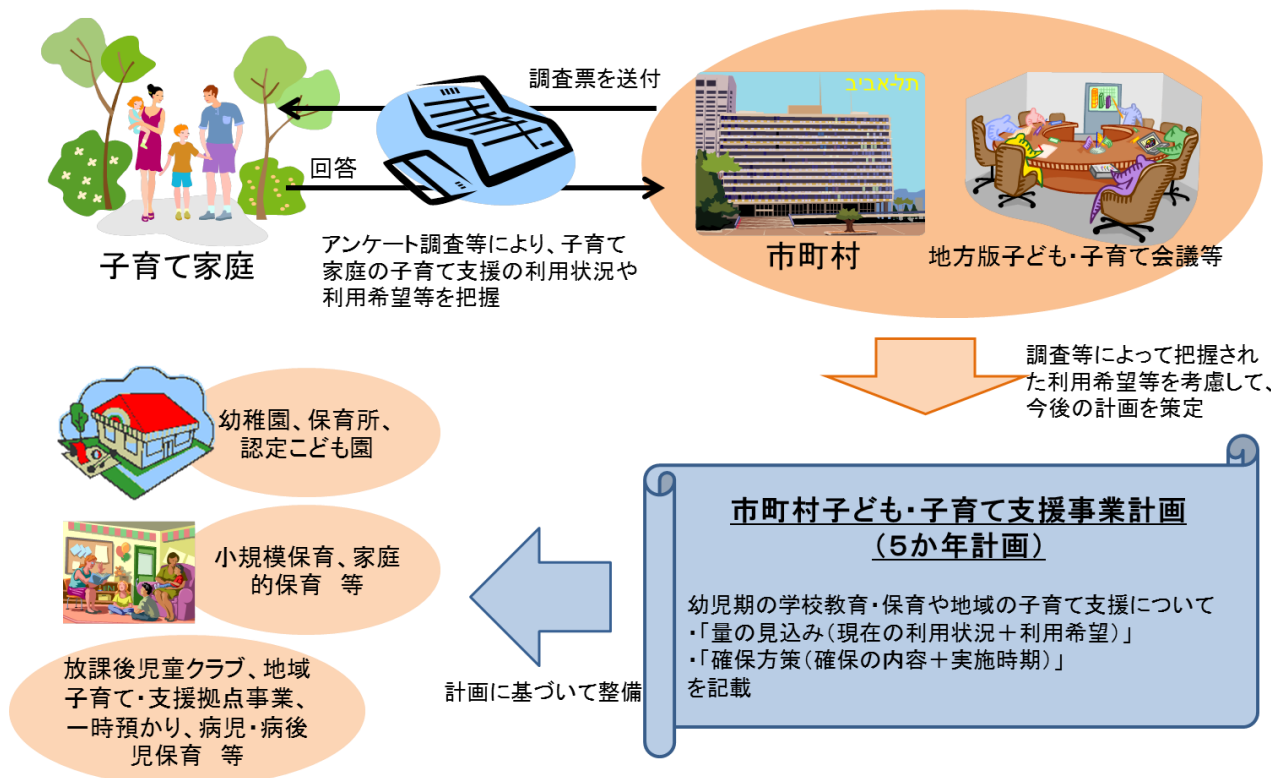
【主な内容】

- (1) 質の高い幼児期の教育・保育を総合的に提供します。そのため、幼児教育・保育及び家庭における養育支援の一体的な提供の促進を図ります。
- (2) 保育の量的拡大・確保を行い、待機児童の解消を図り、地域の保育を支援します。
- (3) 子育ての相談や一時預かりの場などの地域の子育てを充実させます。



ニーズ調査に関するお問い合わせ先
 鹿児島市 こども未来部 こども政策課 企画係
 〒892-8677 鹿児島市山下町 11 番 1 号
 電話：099-216-1514
 F A X：099-803-7628
 E-mail：kodo-seisaku@city.kagoshima.lg.jp

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
- ・ 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
- ・ 小規模な保育施設：国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの〔鹿児島市には、現在のところありません〕
- ・ 家庭的保育：保育者の家庭等で、5人以下の子どもを保育する事業〔鹿児島市には、現在のところありません〕
- ・ 事業所内保育施設：企業が、主に従業員用に運営する施設
- ・ 病児・病後児保育：保育所に入所中の児童等が病気の回復期にあるため、保育所等での集団保育が困難な状態にあり、かつ、保護者がやむを得ない事由のため家庭で保育ができない状況にある場合に、一時的に特定の小児科医療機関で児童を預かる事業
- ・ ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業

お住まいの地域についてお聞きします

問1 お住まいを、「町丁目」及び「小学校区」でご記入ください。

例：) 山下町〇〇番 → (町丁目) 山下町 (小学校区) 名山小学校区
〇〇1丁目〇番〇号 → (町丁目) 〇〇1丁目

町丁目		小学校区	小学校区
-----	--	------	------

封筒の宛名のお子さんとそのご家族の状況についてお答えください

問2 宛名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

平成 () 年 () 月

問3 宛名のお子さんの性別をお答えください。(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. 男	2. 女
------	------

問4 宛名のお子さんに、きょうだいは、いらっしゃいますか。

いらっしゃる場合は、何人きょうだいの何番目か、また、末子の方の生まれた年と月をお答えください。(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. きょうだいがいる	2. きょうだいはいない
-------------	--------------

↓
[] 人 きょうだいの [] 番目 ◎末子の生年月 平成 [] 年 [] 月

問5 この調査票に、ご回答いただく方はどなたですか。

宛名のお子さんからみた続柄でお答えください。(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. 父親	2. 母親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問6 この調査票に、ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問7 宛名のお子さんと同居されている方についてお聞きします。

(1) 宛名のお子さんと同居されている方は、何人ですか。

宛名のお子さんも含めて 人

(2) 宛名のお子さんと同居されている方すべてに、○をつけてください。

(宛名のお子さんからみた続柄)

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. きょうだい |
| 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. その他の人 () |
| 7. 父親が単身赴任中 | 8. 母親が単身赴任中 | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育含む)を、主に行っているのはどなたですか。

宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |

問9 宛名のお子さんの子育て(教育含む)に、影響すると思われる環境すべてに、○をつけてください。

- | | | | | | |
|------------|-------|--------|--------|-----------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 | 6. 小学校 |
| 7. その他 () | | | | | |

問10 日頃、幼稚園・保育所等の施設以外で、宛名のお子さんをみてもらえる(預かってもらえる)親族・知人はいますか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 日常的に、みてもらえる人がいる | } 【問11へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる人がいる | |
| 3. みてもらえる人はいない | |
| 4. その他 () | |

問10で、「1」、「2」を選ばれた方にお聞きします。

→ 問10-1 みてもらえる(預かってもらえる)方すべてに、○をつけてください。

(宛名のお子さんからみた続柄)

- | | | | |
|----------|-------------|--------------|-----------|
| 1. 祖父母 | 2. 父親のきょうだい | 3. 母親のきょうだい | 4. その他の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. 近所の方 | 7. その他の方 () | |

→ 問10-2 宛名のお子さんを、みてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. みてもらう方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. みてもらう方の身体的負担が心配である |
| 3. みてもらう方の時間的制約や精神的な負担が心配である |
| 4. 負担をかけていることが、心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとって、ふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

宛名のお子さんの保護者の就労状況について、お聞きします

宛名のお子さんの、父親についてお聞きします。

問 13 宛名のお子さんの父親の、現在の就労状況をお答えください。

※母子家庭の場合は、【問 14（5ページ）】へ、進んでください。

1. フルタイム 2. パート・アルバイト等	で就労していて、	1. 育休・介護休業中ではない 2. 育休・介護休業中である	⇒【問 13-1】へ
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. これまで就労したことがない			⇒【問 13-3】へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労（以下同様）

問 13 で、「1. フルタイム」、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方にお聞きします。

問 13-1 現在の平均的な就労状況をお答えください。

なお、現在、産休等の方は、休業に入る前の状況をお書きください。

1週間の就労日数	() 日
1日の就労時間	() 時 () 分 ~ () 時 () 分 ※24時間制でお答えください。(例：8時30分~17時30分)
1日の残業時間	() 時間 () 分 ※平均的な時間でお答えください。また残業がない場合は、「0」をおかきください
通勤時間（片道）	() 時間 () 分

「1. フルタイム」を選ばれた方は、【問 14】へ、お進みください。

問 13 で、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方にお聞きします。

問 13-2 フルタイムへの転換希望は、ありますか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	⇒【問 14】へ
--	----------

問 13 で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方にお聞きします。

問 13-3 就労したいという希望はありますか。

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったところに、就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	希望する就労形態	ア. フルタイム イ. パート・アルバイト等
		→1週当たり () 日、1日当たり () 時間

宛名のお子さんの、母親についてお聞きします。

問14 宛名のお子さんの母親の、現在の就労状況をお答えください。

※父子家庭の場合は、【問15(6ページ)】へ、進んでください。

- 1. フルタイム
- 2. パート・アルバイト等

で就労していて、

- 1. 産休・育休・介護休業中ではない
- 2. 産休・育休・介護休業中である

⇒【問14-1】へ

- 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 4. これまで就労したことがない

⇒【問14-3】へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労 (以下同様)

問14で、「1. フルタイム」、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方にお聞きします。

問14-1 現在の平均的な就労状況をお答えください。

なお、現在、産休等の方は、休業に入る前の状況をお書きください。

1週間の就労日数	()日
1日の就労時間	()時 ()分 ~ ()時 ()分 ※24時間制でお答えください。(例：8時30分~17時30分)
1日の残業時間	()時間 ()分 ※平均的な時間でお答えください。また残業がない場合は、「0」をお書きください。
通勤時間(片道)	()時間 ()分

「1. フルタイム」を選ばれた方は、【問15(6ページ)】へ、お進みください。

問14で、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方にお聞きします。

問14-2 フルタイムへの転換希望は、ありますか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。

- 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい

⇒【問15】へ

小学校に就学されている方は、【問16】へ

問14で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方にお聞きします。

問14-3 就労したいという希望はありますか。

- 1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)
- 2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったところに、就労したい
- 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 **ア.** フルタイム
イ. パート・アルバイト等
→1週当たり ()日、1日当たり ()時間

宛名のお子さんが、小学校就学前の方は、【問15(6ページ)】へ、

宛名のお子さんが、小学校に就学されている方は、【問16(7ページ)】へお進みください

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてお聞きします

問 15 宛名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。また、利用されている選ばれた方については、場所をお答えください。他の市町村の場合は、市町村名もお書きください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない ⇒【問18へ】 |
| ↳ (1. 鹿児島市内 | 2. 他の市町村 (市・町・村) |

問 15で「1.利用している」に○をつけた方にお聞きします。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で鹿児島市等の認可を受けた定員20人以上のもの) |
| 4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 6. 認可外保育施設 |
| 7. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 8. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) |
| 9. その他 () |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず (例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり ()日、1日当たり ()時間 [()時～()時]

(2) 希望

1週当たり ()日、1日当たり ()時間 [()時～()時]

現在の利用状況のままでよい(左に、し点でチェックをお願いします。☑)

問 15-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由をお答えください。当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子どもの教育や発達のため |
| 2. 子育て(教育含む)をしている方が、現在、就労している |
| 3. 子育て(教育含む)をしている方が、就労予定がある/求職中である |
| 4. 子育て(教育含む)をしている方が、家族・親族などを介護している |
| 5. 子育て(教育含む)をしている方が、病気や障害がある |
| 6. 子育て(教育含む)をしている方が、学生である |
| 7. その他 () |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてお聞きします。

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園、保育園、小学校などを休みましたか。

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 休んだ ⇒ 【問 16-1】へ | 2. 休まなかった ⇒ 【問 17 (8 ページ)】へ |
|--------------------|-----------------------------|

問 16 で、「1. 休んだ」とお答えの方にお聞きします。

問 16-1 幼稚園、保育園、小学校等を休んだ際の、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに、○をつけ、それぞれの日数も数字でお答えください。

(半日程度の対応の場合も、1日とカウントしてください)

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	() 日	⇒ 【問 16-2】へ
イ. 母親が休んだ	() 日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に看てもらった	() 日	⇒ 【問 16-5】へ
エ. 父親または母親のうち就労していない方が看た	() 日	
オ. 病児・病後児保育を利用した	() 日	
カ. ベビーシッターを利用した	() 日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	() 日	
ケ. その他 ()	() 日	

問 16 で、「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」とお答えの方にお聞きします。

問 16-2 仕事を休まれた際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号ひとつに、○をつけ、日数についても数字でお書きください。

※病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかります。

- | | |
|--|--|
| 1. 病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒ 【問 16-3】へ | |
| 2. 利用したいとは思わない ⇒ 【問 16-4】へ | |

問 16-2 で、「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」とお答えの方にお聞きします。

問 16-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設(例：幼稚園、保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 () |

問 16-2 で「2. 利用したいとは思わない」とお答えの方に、お聞きします。

問 16-4 そう思われる理由について、当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 親が仕事を休んで対応する | 2. 他人に看てもらうのは不安 |
| 3. 利用料がかかる | 4. その他 () |

問 16-1 で、「ウ」～「ケ」のいずれかに回答した方にお聞きします。

問 16-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号ひとつに、○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日 | |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | |
| ⇒ア. 子どもの看護を理由に休みがとれない | イ. 自営業なので休めない |
| ウ. 休暇日数が足りないので休めない | エ. その他 () |

宛名のお子さんが、小学校就学前の方は、【問 17 (8 ページ)】へ、

宛名のお子さんが、小学校に就学されている方は、【問 24 (13 ページ)】へお進みください

「幼稚園」を利用されている方に、お聞きします。 ⇒幼稚園以外の方は、

【問 19】へお進みください

問 17 宛名のお子さんは、幼稚園の長期休業期間中（夏休み等）の教育・保育の事業の利用希望はありますか。

希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でお書きください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯（ ）時 ～ （ ）時 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 15 で、「2. 利用していない」に、○をつけた方にお聞きします。

問 18 利用していない理由は何ですか。

理由として当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がない（教育や発達のため、母親か父親が就労していないなどの理由） |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている |
| 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている |
| 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない |
| 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない |
| 8. 子どもがまだ小さいため【（ ）歳くらいになったら利用したいと考えている】 |
| 9. その他（ ） |

宛名のお子さんが小学校就学前の方にお聞きします。

⇒小学校に就学されて

いる方は、【問 23】へ

問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で鹿児島市等の認可を受けた定員 20 人以上のもの） |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの） |
| 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業） |
| 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 8. 認可外保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 11. その他（ ） |

問 19 で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にお聞きします。

問 19-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

宛名のお子さんの土曜や休日の定期的な利用希望についてお聞きします。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------|---|-------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯（ ）時 ～ （ ）時 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

(2) 日曜日・祝日

- | | | |
|-----------------|---|-------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯（ ）時 ～ （ ）時 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、幼児教育が無償化された場合、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

現在、国が示している無償化の内容については、次ページをご参照ください。

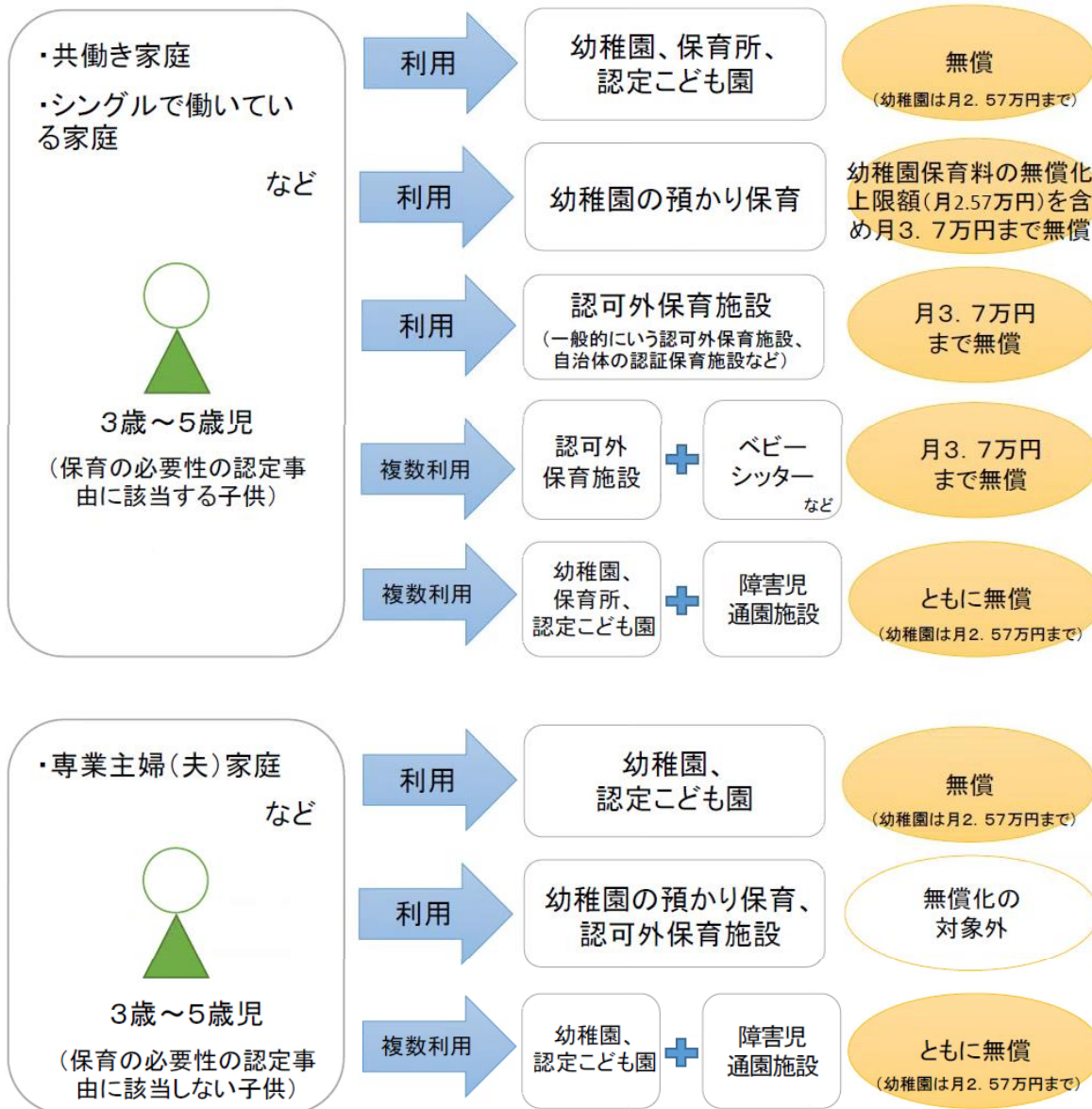
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で鹿児島市等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)
6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認可外保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

幼児教育が無償化された場合の利用希望等についての設問は以上です。



(参考資料)

幼児教育無償化の具体的なイメージ(例)



住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となる。この場合、月4.2万円まで無償となる。

※ 上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る(ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける)。

【出典：幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会 報告書(平成30年5月)】

宛名のお子さんの「不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等」の利用についてお聞きします。

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気等のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに、○をつけ、利用されている場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も、お書きください。
また、全て、利用していないとお答えの方は、その理由として当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

なお、利用希望がある方は、希望日数及び理由もお書きください。

利用している事業	現在の利用・日数	利用希望・日数	利用希望がある理由
1.一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	1.利用している （ ）日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある （ ）日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他（ ）
2.幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長し預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）	1.利用している （ ）日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある （ ）日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他（ ）
3.ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	1.利用している （ ）日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある （ ）日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他（ ）
4.夜間養護等事業： トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	1.利用している （ ）日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある （ ）日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他（ ）
5.ベビーシッター	1.利用している （ ）日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある （ ）日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他（ ）
6.その他 （ ）	1.利用している （ ）日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある （ ）日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他（ ）
7.全て利用していない ア. 特に利用する必要がない イ. 上記事業の存在を知らなかった ウ. 利用方法がわからない エ. 利用料がかかる オ. その他（ ）			

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者の病気等）により、宛名のお子さんを泊りかけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、対処法として、当てはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれの日数もお書きください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター）を利用した	（ ）泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

宛名のお子さんが5歳以上、小学3年生以下である方に、小学校での放課後の過ごし方についてお聞きします。（5歳未満の方は、【問 30（16 ページ）】へ、小学4年生以上の方は、【問 28（15 ページ）】へお進みください。）

問 26 宛名のお子さんが5歳以上小学校就学前の場合、小学校低学年及び小学校高学年になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、宛名のお子さんが小学校低学年の場合、小学校低学年の時期の放課後及び小学校高学年になった場合の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。下の表の小学校低学年及び小学校高学年の両方について、当てはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でお書きください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に、24 時間制でお書きください。なお、小学校高学年で、放課後児童クラブを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

「放課後児童クラブ」・・・放課後などに支援員の下、子どもの生活の場を提供するものですが、保護者が就労等により昼間、家庭にいないことが利用条件となっております。（一定の利用料がかかります。）

小学校低学年（1～3年生）		小学校高学年（4～6年生）	
1. 自宅	週（ ）日	1. 自宅	週（ ）日
2. 祖父母宅や友人宅	週（ ）日	2. 祖父母宅や友人宅	週（ ）日
3. 習い事 （ピアノ教室、少年団活動、学習塾など）	週（ ）日	3. 習い事 （ピアノ教室、少年団活動、学習塾など）	週（ ）日
4. 児童館（児童センター）	週（ ）日	4. 児童館（児童センター）	週（ ）日
5. 放課後子ども教室※	週（ ）日	5. 放課後子ども教室※	週（ ）日
6. 放課後児童クラブ ⇒下校時から（ ）時まで	週（ ）日	6. 放課後児童クラブ ⇒下校時から（ ）時まで ⇒小学校（ ）年生まで利用したい	週（ ）日
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日	7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日

※ 「放課後子ども教室」とは、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、全学年で利用できます。

問 26 で、「6. 放課後児童クラブ」とお答えの方にお聞きします。

問 27 土曜日及び長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。下の表の小学校低学年及び小学校高学年のいずれか一方または両方について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用を希望する時間帯を、24 時間制でお書きください。なお、小学校高学年で、利用したいを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

	小学校低学年（1～3年生）	小学校高学年（4～6年生）
土曜日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない	1. 利用したい ⇒小学校（ ）年生まで ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない
長期休暇中 （夏休みなど）	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない	1. 利用したい ⇒小学校（ ）年生まで ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない

宛名のお子さんが小学4年生以上である方に、放課後の過ごし方についてお聞きします。

問 28 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でお書きください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）と利用を希望する学年をお書きください。

「放課後児童クラブ」・・・放課後などに支援員の下、子どもの生活の場を提供するものですが、保護者が就労等により昼間、家庭にいないことが利用条件となっております。（一定の利用料がかかります。）

小学校高学年（4～6年生）	
1. 自宅	週（ ）日
2. 祖父母宅や友人宅	週（ ）日
3. 習い事 (ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	週（ ）日
4. 児童館（児童センター）	週（ ）日
5. 放課後子ども教室※	週（ ）日
6. 放課後児童クラブ ⇒小学校（ ）年生まで利用したい ⇒下校時から（ ）時まで	週（ ）日
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日

※ 「放課後子ども教室」とは、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、全学年で利用できます。

問 28 で、「6. 放課後児童クラブ」とお答えの方にお聞きします。

問 29 土曜日、長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、24 時間制でお書きください。
なお、利用したいを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

	小学校高学年（4～6年生）
土曜日	1. 利用したい ⇒小学校（ ）年生まで ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない
長期休暇中 (夏休みなど)	1. 利用したい ⇒小学校（ ）年生まで ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお聞きします

問 30 宛名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

また、今後、利用日数を増やしたいと思いませんか。

当てはまる番号1つに、○をつけていただき、利用日数をお書きください。

※地域子育て支援拠点事業とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受け
る場で、「すこやか子育て交流館（りぼんかん）」や「つどいの広場」等があてはまります。

(1) 現在の利用状況をお答えください	1. 利用している 1 週当たり（ ）日、 もしくは、1 か月当たり（ ）日 2. 利用していない
(2) 今後の利用希望をお答えください	1. 現在は利用していないが、今後利用したい 1 週当たり（ ）日、 もしくは、1 か月当たり（ ）日 2. 現在も利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1 週当たり「更に」（ ）日、 もしくは、1 か月当たり（ ）日 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 31 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑳の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに、○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親・父親になるための準備教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③各地域公民館での家庭教育講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ふれあい子育てサロンなど	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦すこやか子育て交流館（りぼんかん）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧親子つどいの広場（なかまっち、たにっこりん、なかよしの、いしきらら）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨地域福祉館の児童ルーム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童センター（城南、三和、郡山）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪地域子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬子育て短期支援事業（ショートステイ・トライド）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭育児支援家庭訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮こどもと家庭の相談室 （市役所にある児童についての悩み相談室）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯保育コーディネーター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰かごしま子育てガイド	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱ひとり親家庭等ガイドブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑲病児・病後児保育事業 （病気回復期の保育）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑳夢すくすくネット	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてお聞きします

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに、○をつけ、該当する()内に数字をお書きください。また、取得していない方は、その理由をお書きください。

父親（番号のいずれかに○）	母親（番号のいずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ↑ ⇒取得していない理由（ ） ※下から番号を選んでお書きください	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ↑ ⇒取得していない理由（ ） ※下から番号を選んでお書きください

1. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 2. 配偶者が育児休業制度を利用した
 3. 子育てや家事に専念するため退職した
 4. 仕事が忙しかった
 5. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 6. 仕事に戻るのが難しそうだった
 7. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 8. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 9. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
 10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 12. 保育所などに預けることができた
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. その他（ ）

問 32 で、「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお聞きします。

問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。また、「1. 育児休業取得後、職場に復帰」された方は、宛名のお子さんの年齢と希望の年齢をお書きください。

(1) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 ⇒宛名のお子さんが()歳()か月のときに復帰した ⇒【問 32-2】へ
 ⇒希望としては、()歳()か月
 2. 現在も育児休業中である ⇒【問 32-3】へ

(2) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 ⇒宛名のお子さんが()歳()か月のときに復帰した ⇒【問 32-2】へ
 ⇒希望としては、()歳()か月
 2. 現在も育児休業中である ⇒【問 32-3】へ

問 32-1 で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお聞きします。

問 32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに、○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月に職場復帰し、その間、認可外保育所などに入所した場合や、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった場合も、「1」を選択してください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 32-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたいですか。

() 歳 () か月

問 32-1 で、実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。

問 32-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお聞きします。

当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

	父 親	母 親
復 希 帰 望 し 更 た 早 方 速	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があった 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせた 5. その他 ()	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があった 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせた 5. その他 ()
帰 希 し 望 た 更 方 遅 復 速	1. 希望する保育所に入れなかった 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった 3. 配偶者や家族の希望があった 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他 ()	1. 希望する保育所に入れなかった 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった 3. 配偶者や家族の希望があった 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他 ()

問 32-1 で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にお聞きします。

問 32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

当てはまる番号1つに、○をつけてください。

父 親	母 親
1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった	1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問 32-5 で、「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」を選ばれた方にお聞きします。

問 32-6 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。

当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

(1) 父親

- | |
|---|
| 1. 短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他 () |
|---|

(2) 母親

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった2. 仕事が忙しかった3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった7. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった9. その他（ |) |
|--|---|

問 32-1 で、「2. 現在も育児休業中」を選ばれた方にお聞きします。

問 32-7 宛名のお子さんが、1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても、1歳になる前に復帰しますか。

父 親	母 親
<ol style="list-style-type: none">1. 1歳になるまで育児休業を取得したい2. 1歳になる前に復帰したい	<ol style="list-style-type: none">1. 1歳になるまで育児休業を取得したい2. 1歳になる前に復帰したい

問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い ←—————→ 満足度が高い
1 2 3 4 5

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。